



力いっぱい振りあげて「よいしょ！」

安原の
いま総人口 4,539人 (前年比-□人) 【男 2,195人 女 2,344人】
安原地区公民館 〒390-0802 松本市旭2-11-13 TEL 0263-39-0701

6年ぶりのもちつき大会 ～安原地区子ども会育成会主催～

12月1日、育成会主催のもちつき大会が開催されました。コロナ禍と昨年のインフルエンザの流行のため、6年ぶりの開催となりました。初めての経験となる役員が多い中、育成会長はじめ地元の皆さんの協力で大人と子ども約100人参加の賑やかな大会となりました。

12月1日、育成会主催のもちつき大会が開催されました。コロナ禍と昨年のインフルエンザの流行のため、6年ぶりの開催となりました。初めての経験となる役員が多い中、育成会長はじめ地元の皆さんの協力で大人と子ども約100人参加の賑やかな大会となりました。

低学年用と高学年用の2つの臼で2升のもちをつきます。蒸したてのもち米はまず男性保護者が大きな杵でついてある程度もち状にしてから、子どもたちが小さな杵で順番についていきます。保護者が杵に手を添えてつく場面も見られました。

つきあがったもち調理室で小さくちぎってお汁粉にして会場へ。子どもたちのリクエストで砂糖醤油も追加されたり、何もつけずに食べる子どももいたり。おいしいとおかわりする子もいます。みんな楽しく味わっていました。「大人がついているところを見ると簡単そうだけど、自分でやると重くて大変だった」「つきたてのおもちはおいしい」との感想が聞かれました。また、最初についた保護者は「もちつきは小学校以来10数年ぶり大きな杵は初めて。重いが楽しかった」と話しました。

役員も「晴天に恵まれて何よりでした。子どもたちも楽しんでくれてよかった」と嬉しそうでした。

準備から後片付けまで大勢の力があってのもちつき大会。中断を余儀なくされた時期もありましたが、これからも引き継がれていくことを期待します。



高齢者「安全」教室



11月19日安原地区福祉ひろばで「高齢者交通安全教室」が開かれ、大好評でした。市自転車推進課を通じて長野県自動車販売店協会のスタッフにお越しいただきました。お嫁さんとお姑さんに扮したコミカルな寸劇で、薄暮時の服の色によってドライバーからの認識具合が大きく違うことと、反射板の効果を実験しました。「歩行者として、自分の命を守るのは自分、それがドライバーのためにもなる」という言葉が印象的でした。

最後に県内に一台しかない県警交通安全プログラム「歩行シミュレーター」と「点灯くん」を使って、全員が横断歩道の疑似体験と反射プログラムを体験し、自分のデータをいただいて、有意義な講座を終了しました。



巧妙な腹話術で最新の詐欺被害を解説



ライトの点滅で反射神経を測る「点灯くん」



人権フェスタ in 旭町中開催される

11月5日、安原地区人権啓発推進協議会・旭町中学校共催による「楽団ケ・セラ」の演奏会が旭町中学校体育館で開催されました。誰もが助け合える共生社会について学ぶことが目的。全校生徒約300人が参加、オンラインにて院内学級の生徒と先生5人も視聴しました。また、保護者や地域住民に参加を呼びかけました。

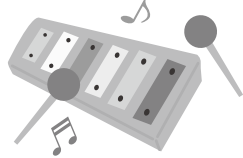
今回、生徒にスタッフを募り、8人の有志が中心になり運営されました。ケ・セラの演奏準備に合わせ、スタッフは会場にイスや受付ブースを設置。同時に司会進行のりーサルやシナリオの読み合わせを行い、先生方のサポートを受け準備をしました。

演奏会

演奏会冒頭の開会式は、生徒の司会によりスムーズに進みました。林校長先生は、相手を思いやること、興味を持つこと、コミュニケーションが大切だとあいさつしました。ケ・セラによる演奏が始まると、観客席から自然と手拍子が聞こえてきます。中盤の

流行りの曲では楽団員が前に並び、メロディに合わせてダンスを披露しました。すると、後列に座る生徒らが立ち上がって一緒に踊る場面も。手話による演奏も行われ、楽団員の手話に生徒全員が合いません。終盤、楽団員がアニメキャラクターの衣装で登場すると歓声が上がりました。笑顔の絶えない一時間はあっという間でした。最後に野村茂安原地区人権啓発推進協議会長が生徒と楽団員の一体感を讃え、幕を閉じました。

終了後、運営スタッフの生徒たちに今回の感想を聞きました。「思っていたよりも盛り上がった」「想像よりも迫力のある演奏だった」という意見がありました。「ケ・セラの役に立てた」「お互いがお互いを尊重し、差別のない共生社会を目指したい」「音楽で障がいを超えていきたい」など、今後の夢を語り、今回の演奏会を通じて誰もが達成感に満ちていました。



実際の地震を体験！ 四季防災館視察研修

12月12日、安原地区人権啓発推進協議会主催による富山県の防災施設「四季防災館」の視察研修を実施しました。大規模災害発生時、いわゆる災害弱者の人権と防災について学習することが目的で、20人が参加しました。

研修では、まず地震や風水害のリアル映像や災害発生時の仕組みについて動画を視聴。次に振動装置を使った地震体験、訓練用消火器を使った初期消火体験、建物火災を想定した煙体験を受講しました。視察研修後、参加者から頂いた感想は次のとおりです。今後の安原地区の防災に活かされることを期待します。

視察研修の感想や印象

- ・震度1〜7まで体験し、震度の差に驚いた
- ・過去に発生した地震の体験もでき、身に染みて怖さを感じた
- ・このような体験をする機会がなく、実体験できてよかった
- ・色々なメニューがあり、体験できるのが素晴らしい
- ・長野県にもこのような施設が必要だと思った

災害弱者に必要な配慮とは

- ・障がい者への思いやり
- ・災害弱者を把握しておく
- ・早めの声かけ
- ・複数人での対処の大切さ
- ・ヘルプカードの利用を推進
- ・認知症の人には細かく説明、不安を取り除くよう気を配る



いざ災害が起きたら？

- ・自分にできる行動が限られ、他人にまで気を配れるかわからない
- ・避難できない人をどう避難させるかが問題
- ・要介護の人が避難所まで行けるのか？どう行けるかが問題

いちよう並木

「スガビオサ・西洋松虫草」は丈夫で育て易い

マツムシソウ科マツムシソウ属の植物で、耐寒性に優れた越年草です。爽やかな薄紫の花が次から次へと咲く花期の長い山野草です。

高原や草原に自生する在



長い期間咲いているスガビオサ

来種の松虫草は60〜90cmに育ち、それに比べ、背丈が余り伸びない特長があります。地植えをする場合、日当たり良く、水はけの良い腐葉土をたくさん施して植え込みます。夏の終わりから初秋に掛け美ヶ原高原や高ボッチ高原で群生、咲き乱れる姿は壮観ですが、鹿による被害が心配です。頭花の中心に小さな筒状の花冠が集まり盛り上がり、外側に唇状に長く伸びて咲きます。

高山に咲くタカネマツムシソウの花色は濃い紫色で背丈が低い。スガビオサは四季咲きで見ごろは春から初夏です。乾燥には弱い植物ですが、鉢植えの場合は、水のやり過ぎにご注意ください。